

令和7年度第2回別府市人権教育学級

- 1 日 時 令和7年7月10日（木曜日） 14時～15時50分
2 場 所 別府市社会福祉会館 多目的大広間
3 テー マ 「性的少数者の人権」
4 演 題 「性教育の視点から観る性の多様性～大人ができる環境作り～」
5 講 師 大分県人権教育・啓発推進協議会 人権啓発講師
性のお話ができるお部屋 mami25 代表 三重野 真美 氏

【講師プロフィール】

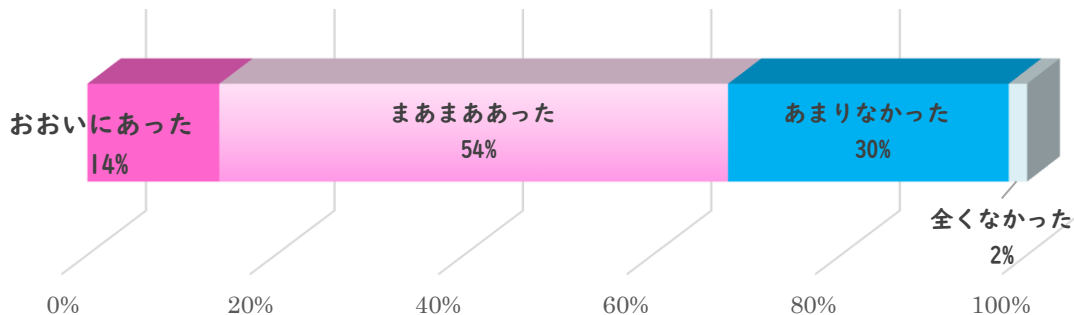
- ・看護師、助産師、日本思春期学会性教育認定講師、思春期保健相談士、防災士、JABC ベビーマッサージインストラクター等様々な資格を保持
- ・助産師や看護師の勤務経験豊富
- ・人権を大切にできる性教育の講座や啓発活動を積極的に行っている。

6 講演内容

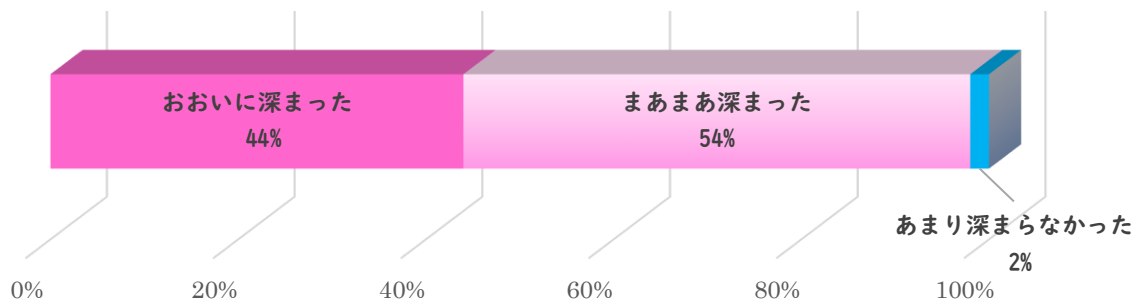
- ・包括的性教育とは
- ・性を構成する5つの側面
- ・性的少数者の現状
- ・自分自身への偏見、人から差別される恐怖
- ・相談の大切さと安心できる環境とは

7 参加者意識調査

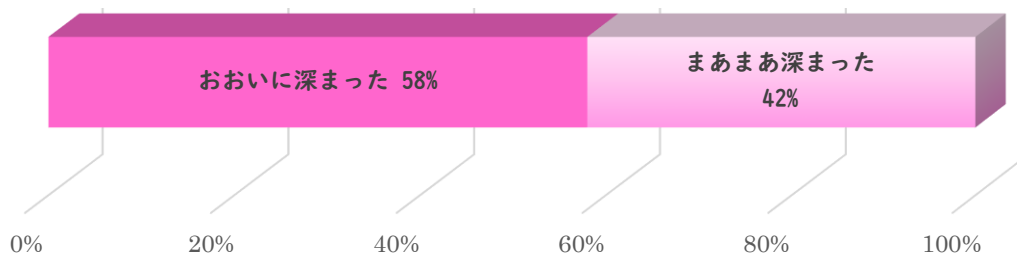
（1）今回の講座に参加する以前に、人権問題について、どのくらい関心がありましたか。



（2）今回の講座に参加して、人権問題について、関心が深まりましたか。



(3) 今回の講座に参加して、こどもの人権問題について、理解が深まりましたか。



8 学習会の様子



〈はじめの会の様子〉



〈講師 三重野真美氏〉



〈講演の様子〉

9 参加者の感想

- 本日の講座を受けるまで、いろんな面で決めつけていたと思います。もちろん、こどもにも「女の子だから」「男の子だから」と言っていました。そういう決めつけの言葉で傷つけていくということが分かりました。これから、様々な人と関わる中で、発言には十分に気をつけ、広い視野から見て、柔軟な対応をしたいと思います。ありがとうございました。
- 今日はとても興味深いお話をお聴きできうれしい気持ちでいっぱいです。このような学習機会があるおかげで、少しずつでも理解を深めていきたいです。「保育園の坊主の子の話」は、まさに、このような活動のおかげで、一人ひとりの気持ちを大切にできた出来事だと感じました。私も、いろんな知識を深めていきたいと思います。
- 自分自身は性的少数者ではないけれども、もし周りで困っている人がいれば、信頼してもらえたい人間になりたいと思いました。そのためにどうすればよいのかを、本日の講座で知るきっかけができました。
- 男らしさ・女らしさという言葉に、ドキッとしました。自分は家でこどもたちにそんな言葉を当たり前のように、日常使っているなと改めて思いました。私自身が気をつけなければいけないと思いました。このような教室がもっと増えて、正しい知識や多様な社会を学ぶ場があればよいと思います。ありがとうございました。
- 今まで当たり前のように過ごしてきた、LGBTQのことや、部落差別問題について学ぶ機会も増え、頭の中では理解できているつもりでしたが、今日のお話をお聴きし、学んだことを子育てでどう生かしていくか考えさせられました。当たり前に男女を使うことが多い世の中ですが、制服も最近では男女関係なくなる等、だんだんと性への理解も進んできているとは思いますが、私に何ができるのだろうと考えさせられました。皆さんが過ごしやすい時代になっていくと良いと思います。
- 先生のお話を聴いて、自分のこどもの頃の男の子・女の子という意識が知らず知らずのうちに浸透していたことが分かりました。また、自分のこどもにも「女の子だから…」と言ってしまったことがありました。今日のお話を出産前に勉強したかったなとも思いました。一人一人を認めていくこと、自分を大事にすることを、これからの子育てで伝えていけたらと思います。こどもには、自分らしさを大切にしてほしいと思います。また、私自身も自分らしさをこれからの人生で考えていきたいです。